

ヒューマンハーバー



11・12月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.205 2012年(平成24年)11月16日(金)発行



◆10/3 長野地区本部
「商工中金取引と政策金融について」
講師 商工中金諏訪支店
支店長 白方 公二氏



◆10/6~7 山梨地区本部
第8回甲斐路100km歩け歩け大会

CONTENTS

| | |
|------------------------|---|
| 巻頭 | 1 |
| 山梨地区本部事業報告から | |
| 第8回甲斐路100km歩け歩け大会を開催 | 2 |
| 〈レポート〉実行委員長 芦澤 雄二 | 2 |
| 〈レポート〉山梨地区本部長 太田 丈三 | 3 |
| 〈レポート〉社会福祉法人忠恕会 田中 みゆき | 4 |
| 長野地区本部事業報告から | 5 |
| 写真で綴る関連事業・スケジュール | 6 |
| PETIT情報・編集後記 | 6 |

パナソニック トップ だったらどうする

パナソニックは10月31日、平成24年9月中間決算も最終損益が6851億円の巨額赤字になることを発表、2期連続の大幅赤字に悩まされています。その主な要因はデジタル家電や白物家電など、自動車関連を除くすべての分野で売上げが下振れ、特に海外勢との競争激しい薄型テレビや携帯電話など主力のデジタル家電の停迷ぶりが際立っているといえます。

これに対して津賀社長は「売上げを拡大すれば利益が伸びるという価値観を変える」と強調。またマスコミ等では「創業者のいう水道哲学が通用しない時代になっている」と報じています。

経営の神様、松下幸之助が元気でいれば、4度目のこの大ピンチにどう対応したであろうか。

昨年、一昨年と松下資料館を訪ね「松下経営塾・ハイコープ特別研修」で学んだ松下流経営哲学から我流八策を想定してみました。

1. どんなに厳しくとも社員の雇用は守る
2. 不振製品について衆知、集合値を集めよ
(製品の性能、形、色、市場、適正価格、新製品等)
3. 社員一丸となって営業し、在庫一掃せよ
4. 海外勢との無謀な価格競争に巻き込まれるな
5. 今もっている技術、製品に新たな付加価値、機能、成長分野製品の開発を総力を挙げ検討せよ
6. 経営トップはもっと経営感性、センス、勘を磨け！2期連続で赤字になる前になぜ手を打たないか！赤字を出してまで海外勢との競争に何故のめり込んだか！反省し、勘を磨け！